

令和 6 年度 学 習 の 手 引 き

教科名	家庭	年次	2	使用教材	保育基礎 実教出版 ワーク 実教出版
科目名	保育基礎	選択			
		単位	2		

科目の目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次の通り育成する。

- (1) 保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学習方法

- ・授業での学びを、学校全体の活動や地域の活動と結びつけて考えてみる。
- ・授業で学んだことをもとに、実際に子どもと触れ合う経験を試みる。
- ・日常のニュースに目を向け、解決策を考えたり自分にできることを考えたりする。

評価の観点

次の観点に基づき、単元または内容のまとまりごとに評価を行います。前期末にはそれらを総括して評価を行います。学年末は1年間を総括して評定を出します。

評価の観点		評価の観点の趣旨
①	知識・技能	保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。子どもの発達の特徴、生活と保育に関する知識を総合的に身に付けている。
②	思考・判断・表現	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫して創造する能力を身に付けている。
③	主体的に学習に取り組む態度	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもにすこやかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身に付けている。

評価方法

評価方法\観点	①	②	③	備 考
定期考査	○	○		
実技実習	○	○	◎	
宿題	○		◎	
授業プリント	○	○	○	
行動観察	○	○	◎	
レポートの記述	○	○	○	
授業の取り組み			◎	

◎特に重視する点

評定への総括

評語	評価	評定
A A A	10	5
A A B	9	
A B B	8	4
A A C	7	
A B C	6	3
B B B	5	
B B C	4	
A C C	3	2
B C C	2	
C C C	1	
		1

内容のまとめりごとの評価規準

科目名:保育基礎

評価の観点 内容のまとめり		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	1子どもの保育	保育の意義と役割について、幼稚園教育要領や保育所保育指針などについても理解し、保育が人間形成にどのように関わるか理解する	保育の意義と役割について、幼稚園教育要領や保育所保育指針などについても理解し、保育が人間形成にどのように関わるか表現している	保育の意義と役割について、幼稚園教育要領や保育所保育指針などについても理解し、保育が人間形成にどのように関わるか意欲的に取り組んでいる。
2	2子どもの発達	乳幼児期は人の発達・発育において大切な時期であることを理解し、共通性や個性などの特性を理解する	乳幼児期は人の発達・発育において大切な時期であることを理解し、共通性や個性などの特性を把握し、子どもの発育や発達に必要なことについて思考を深めることができる	乳幼児期は人の発達・発育において大切な時期であることを理解し、共通性や個性などの特性を理解し、子どもの発育や発達に必要なことについて意欲的に学ぼうとしている
3	3子どもの文化	絵本や遊び歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が子どもの健やかな発達と関わることを理解する	絵本や遊び歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が子どもの健やかな発達と関わることを理解し表現することができる	絵本や遊び歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が子どもの健やかな発達と関わることを理解し表現しようとしている
4	4子どもの生活	子どもが心身の健康を保つための保育の技術や乳幼児期の栄養や食事の特徴を理解する。	子どもが心身の健康を保つための保育の技術や、乳幼児期の栄養や食事の特徴を実習などを通して実践し、理解を深める。	子どもが心身の健康を保つための保育の技術や、乳幼児期の栄養や食事の特徴を理解し、実習などを通して意欲的に取り組んでいる。
5	5子どもの福祉	子どもの福祉に関心を持ち、児童福祉の理念や法律と制度について理解する。	子どもの福祉に関心を持ち、児童福祉の理念や法律と制度について社会で活用する方法について考えを深める。	子どもの福祉に関心を持ち、児童福祉の理念や法律と制度について社会で活用する方法について考えを深めようと意欲的に取り組んでいる。
6				
7				
8				

年間学習計画

教科(家庭)学年(3 G7)
履修形態(選択)

科目(保育基礎)
單位(2)

[illegible]

単元の計画

教科名		家庭	対象学年・生徒	3学年 選択	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・思考力
科目名		保育基礎		教科書		
単位数		2		ワーク		
単元名		保育の意義		授業プリント		
内容		1保育とは 2保育の意義 3保育の方法 4一人一人に合わせた指導				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		・保育の意義と重要性について、幼稚園教育要領や保育所保育指針を取り上げながら、保育が人間形成に与える影響を理解する。	・保育の意義と重要性について、幼稚園教育要領や保育所保育指針を取り上げながら、保育が人間形成に与える影響を理解し、保育観について考察を深める。		・保育の意義と重要性について、幼稚園教育要領や保育所保育指針を取り上げながら、保育が人間形成に与える影響を理解し、保育観について考察を深めようと主体的に取り組む。	
単元の学習内容		・保育者の役割について理解する。				
		・発達時期を考慮した保育の工夫について学ぶ。				
		・家庭での保育の現状や幼児教育・保育の場の保育環境の特徴や役割を理解する。				
		・子どもを取り巻く社会環境の変化や今後の保育の課題について理解し、子どもの健やかな発達のために適切な保育環境について考える。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		・保育の意義と重要性について、幼稚園教育要領や保育所保育指針を取り上げながら、保育が人間形成に与える影響を理解している。	・保育の意義と重要性について、幼稚園教育要領や保育所保育指針を取り上げながら、保育が人間形成に与える影響を理解し、保育観について考察を深めている。		・保育の意義と重要性について、幼稚園教育要領や保育所保育指針を取り上げながら、保育が人間形成に与える影響を理解し、保育観について考察を深めようと主体的に取り組んでいる。	
主な評価方法	定期考査	○	○			
	実技実習	○			○	
	宿題	○			○	
	授業プリント	○	○		○	
	行動観察		○		○	
	レポートの記述					
	授業の取り組み				○	
配当時間		5時間				
補足等						

単元の計画

	家庭	対象学年・生徒	3学年 選択		
科目名	保育基礎	教材 題材	教科書 授業プリント ワーク	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・グローバル力 ・思考力
単位数	2				
単元名	子どもの発達				
内容	1子どもの発達の特性 2子どもの体の発達 3子どもの心の発達 4年齢月齢別の発達				
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	・乳幼児期は人の発達、発育において大切な時期であり共通性や、個性があることを理解する。 ・乳幼児期の身体的特徴を捉え、発達の過程を理解する。 ・心の愛着の形成と人間関係について理解する。		・乳幼児期は人の発達、発育において大切な時期であり共通性や、個性があることを理解し、発達の過程などを考慮した一人一人に応じた関わり方について考えを深める。		・乳幼児期は人の発達、発育において大切な時期であり共通性や、個性があることを理解し、一人一人に応じた関わり方について意欲的に学ぶ。
単元の学習内容	・乳幼児期は人の発育・発達において大切な時期であり、共通性や個性などの特性があることを理解する。				
	・乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴を捉え、新生児～乳幼児期へと続く人の発達の過程を理解する。				
	・心の発達の土台としての大切な愛着形成について学ぶ				
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	・乳幼児期は人の発達、発育において大切な時期であり共通性や、個性があることを理解している。 ・乳幼児期の身体的特徴を捉え、発達の過程を理解している。 ・心の愛着の形成と人間関係について理解している。		・乳幼児期は人の発達、発育において大切な時期であり共通性や、個性があることを理解し、発達の過程などを考慮した一人一人に応じた関わり方について考えを深めている。		・乳幼児期は人の発達、発育において大切な時期であり共通性や、個性があることを理解し、発達段階に応じた関わり方について意欲的に学んでいる。
主な評価方法	定期考査	○	○		
	実技実習				
	宿題				
	授業プリント	○	○		
	行動観察		○		○
	レポートの記述				
	授業の取り組み				○
配当時間	5時間				
補足等					

単元の計画

教科名		家庭	対象学年・生徒	3学年 選択	育成する 資質・能力	・発見力 ・思考力 ・コミュニケーション力
科目名		保育基礎	教材 題材	教科書		
単位数		2		授業プリント		
単元名		子どもの文化		ワーク		
内容		1子どもの文化の意義と支える場 2子どもの遊びと表現活動				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		・絵本や遊び、歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達にどのような影響を与えるのか理解する。 ・子どもの遊びと遊具や表現活動の意義や重要性などを理解する。	・絵本や遊び、歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達にどのような影響を与えるのか理解し、子どもの遊びと遊具や表現活動に関連する保育技術を身に付け表現する。		・絵本や遊び、歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達にどのような影響を与えるのか理解し、子どもの遊びと表現活動に関連する保育技術修得に意欲的に取り組む。	
単元の学習内容		・絵本や遊び、歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達にどのようなに関わるのか学ぶ。				
		・衣服の構造と機能性や快適性について学ぶ。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		・絵本や遊び、歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達にどのような影響を与えるのか理解している。 ・子どもの遊びと遊具や表現活動の意義や重要性などを理解している。	・絵本や遊び、歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達にどのような影響を与えるのか理解し、子どもの遊びと遊具や表現活動に関連する保育技術を身に付け表現している。		・絵本や遊び、歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達にどのような影響を与えるのか理解し、子どもの遊びと表現活動に関連する保育技術修得に意欲的に取り組もうとしている。	
主な評価方法	定期考査	○	○			
	実技実習	○	○			
	宿題					
	授業プリント		○		○	
	行動観察				○	
	レポートの記述					
	授業の取り組み	○			○	
配当時間		5時間				
補足等						

単元の計画

教科名		家庭	対象学年・生徒	3学年 選択	育成する 資質・能力 ・発見力 ・学ぶ力 ・思考力
科目名		保育基礎	教材 題材	教科書	
単位数		2		授業プリント	
単元名		子どもと関わってみよう		ワーク	
内容		子どもと関わってみよう			
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
		・実際に子どもと触れ合う経験を通して子どものものの見方や感じ方を理解する。	・実際に子どもと触れ合う経験を通して子どものものの見方や感じ方を理解し、子どもとの適切な関わり方など、保育への理解を深める。		・実際に子どもと触れ合う経験を通して子どものものの見方や感じ方を理解し、子どもとの適切な関わり方など保育への理解を深めようと意欲的に取り組む。
単元の学習内容		・子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身に付ける。			
		・乳幼児期の栄養や食事の特徴を実習を通して理解する。			
		・基本的生活習慣の形成の意義と重要性を理解する。			
		-			
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
		・実際に子どもと触れ合う経験を通して子どものものの見方や感じ方を理解している。	・実際に子どもと触れ合う経験を通して子どものものの見方や感じ方を理解し、子どもとの適切な関わり方など、保育への理解を深めている。		・実際に子どもと触れ合う経験を通して子どものものの見方や感じ方を理解し、子どもとの適切な関わり方など保育への理解を深めようと意欲的に取り組んでいる。
主な評価方法	定期考査	○	○		
	実技実習	○	○		
	宿題	○			
	授業プリント		○		○
	行動観察		○		○
	レポートの記述				
	授業の取り組み		○		○
配当時間		5時間			
補足等					